2026
November
11
No.845

～健康長寿は歯から～　～健口から健幸へ～

熊歯会報

熊本県歯科医師会
Kumamoto Dental Association



CONTENTS

- 巻頭言（理事　野田 和宏）……3
- 理事会報告……4
- 委員会報告（地域保健学校歯科、社会保険）……7
- 郡市会報告（阿蘇郡市、山鹿市、荒尾市）……9
- 報告……10
- 口腔保健センター新聞第15号……12
- Legend～伝説のささやき～……14
- 部活動だより……16
- ご訃報・新入会員……17
- 会務報告……18

― 歯科医師の倫理綱領 ―

われわれ歯科医師は、日頃より歯科医学および歯科医療の研鑽を通じて培った知識や技術をもって、人々の健康の回復と疾病の予防のために貢献するものである。

一、専門職として歯科医学と歯科医療の発展のために尽くし、医療倫理の実践に務める。

一、専門職であることを念頭に、法を遵守し適切な説明を行い、常に愛情を持って患者のために社会的使命を果たすように努める。

一、自己の知識、技術、経験を社会のために提供し、社会福祉および国民の健康向上のために努める。

公益社団法人　日本歯科医師会

表紙に寄せて

五家荘の存在が世に知られるのは、江戸時代のこと。（1650年肥後国誌）
それまで人が住むことさえ知られない秘境でした。
平家落人伝説でも有名な地ですが、源平合戦の名場面として後世に語り継がれる『扇の的』とも繋がりがあります。
美しい平家の女官、玉虫御前が揺れる小舟の上で扇を掲げ「射てみよ」と挑戦する屈指の名場面で、的を射抜いた那須与一と玉虫御前の二人の話に続きがあることはあまり知られていません。
玉虫御前は五家荘に逃げ落ち、後に平家討伐に追ってきた那須与一の落胤（子）と恋に落ち、幸せに暮らしたという伝説。
これを作り話だと笑うのは無粋なこと。勝者が創り上げた正史の陰に咲いたこの逸話を美しい景色と重ねるのも一興です。
険しい山道を越えた先でふたりが見上げたであろう紅葉は、幾世紀も経た今年も、山肌を鮮やかに染めています。
新緑から深秋へ…一枚一枚の葉が色を重ね、やがて山全体を錦に染める。その光景は、異なる時を生きた人々の記憶、幾重にも交錯する私たちの人生を、静かに映し出すようです。

（N・A）



診療報酬改定における施設基準と今後



理事　野田　和宏

会員の先生方におかれましては、日頃より本会の社会保険事業にご協力・ご指導を頂き誠にありがとうございます。牛島会長の下、引き続き社会保険担当理事を拝命致しました野田和宏です。

本年６月に診療報酬改定が行われました。診療報酬の改定率は＋3.09％と30年ぶりの増加率です。しかし、その増加の内容を見ると対象職員のベースアップ分（＋1.70％）や物価高騰対策（＋0.76％）となっており、歴史的な物価高騰や人件費上昇といった厳しい問題への対策として盛り込まれています。一方で歯科の改定率としては＋0.31％と各診療報酬の算定項目の点数の増加は少ないものになっています。

ここ数回の診療報酬改定で感じるのは、施設基準の有無によって診療報酬に大きな差が生まれるという事です。今回の診療報酬改定においても施設基準の要件変更があり、既に取得している施設基準であっても届出の再提出を行う必要がありました。今後の歯科医院経営において「適切な施設基準の取得・維持とその運用の充実」がより重要になってきます。ベースアップ評価料による賃上げ対応をはじめ、デジタル機器の臨床活用、医療安全や感染対策、他職種･他医療機関との連携体制に至るまで､最新の診療報酬を算定するためのハードル（施設基準・届出要件）は年々多層化・高度化しています。会員の先生方からも診療報酬改定ごとに施設基準に関する質問をよく頂きます。やはり施設基準の届出の方法や要件に関する内容が多く、歯科医院経営に直結する部分でもありますので、今後も分かりやすく伝えることができるように努めて参ります。

これからの診療報酬改定においても施設基準への保険点数の貼り付けが予想されます。会員の先生方の診療においてマイナスになる事のないように情報を発信していきたいと思っております。

また、正しい保険算定の知識を得るためにも、毎月の会員発送物の中に社会保険委員会からの情報等を同封しておりますので、目を通していただければ幸いです。もし診療報酬請求等でご不明な点がございましたら、社保委員会までご連絡ください。今後も会員の先生方にとって、実態に即した保険算定ができるように関係各所と協議して参りたいと考えております。

理事会報告

歯科保健施策を踏まえた事業計画を

― 第17回理事会 ―

９月24日(木)午後７時30分より県歯会館において、牛島会長他全役員、神山・永松監事のもと開催された。

１．開会：椿副会長

２．挨拶：牛島会長

先日発足した高市新内閣ですが、木原稔代議士が官房長官留任となりました。引き続き国政をリードする立場ということで、益々の活躍を期待したいと思います。また、上野厚生労働大臣も留任され、攻めの予防医療の推進を実現するための施策を進めていくことになるかと思います。施策のトップには歯科保健が明記されており、国民皆歯科健診が政府によってますます進められるのではないかと期待しています。８月31日には厚生労働省の概算要求額が発表され、歯科保健関係については前年比141％と大幅な増額の要求がなされました。歯科保健の推進と歯科提供体制の構築、人材確保についてはかなり拡充となっており、攻めの予防医療に位置付けられた証だと考えています。このような方向性を踏まえたうえで、来年度の事業計画を検討していただきたいと思います。

また、来年６月に日歯役員改選が行われますが、高橋現日歯会長が次期会長予備選挙への立候補を表明されました。その他に、千葉県の小林慶太先生と、山口県の小山茂幸先生が立候補を予定されています。高橋会長は高市総理とも懇意にされていますので、歯科保健の施策が進められることについては、やはり高橋会長に分があるかと考えておりますが、他２人の施策も伺い、熊本県には９人の選挙人がおりますので、その先生方に、次期会長にふさわしい方を選んでいただきたいと思います。これからの歯科界を盛り上げていくためにはどのような方を選ぶべきか、先生方にはしっかりと考えていただきたいと思います。



３．議長選出：牛島会長

４．議事録署名人：神山・永松監事、牛島会長

５．会務報告：(自：８月21日～至：９月17日)

本会総務：県保健医療福祉支援会議（Web)、災害対策本部会議、熊本JDAT保健・支援物資配布活動、理事会、常務理事会、くま歯キャラバン隊、九地連引継式、県福祉調整本部会議（Web)、九州各県専務理事会

学　　術：ロアッソ熊本ホームゲームでのPRブース出展※本会総務（災害歯科)・厚生・医療管理合同

社会保険：社会保険委員会（Web)

地域保健学校歯科：世界一受けたい歯の授業、生活歯援プログラム、図画・ポスター・習字・標語審査、地域保健学校歯科小委員会

地域包括ケア：オーラルフレイル対策普及定着事業、在宅歯科医療連携啓発イベント打合せ、熊大緩和ケアセンター県民公開講座打合せ、多職種研修会打合せ(Web)、地域包括ケア委員会（Web)、県健康づくり推進課と事業打合せ

広　　報：熊歯会報10月号校正、くまもと経済インタビュー取材

医療対策：医療相談・苦情対応
厚生・医療管理：各郡市健康診断、厚生・医療管理委員会
センター：役職員会、日本摂食嚥下リハビリテーション学会
学　　院：始業式、ナイトキャンパス、教務委員会
国保組合：九歯連役員会（書面）、全協九州支部幹事会・総会（書面）、全協理事長・役員研修会

以上、各担当役員より報告がなされた。

６．報告事項：

１．退会会員について
２．事業実施報告書
・世界一受けたい歯の授業
３．８月末会計現況について

７．連絡事項：

１．10月行事予定について

８．承認事項：

１．新入会員の承認について
【承認】審議の結果、第１種会員２名の入会を承認した。
２．後援名義使用依頼について
【承認】第74回「手足の不自由な子どもを育てる運動」／公財）熊本県肢体不自由児協会
３．関係機関・団体からの役員等推薦依頼について
審査運営協議会 委員 ／ 社会保険診療報酬支払基金
【承認】推薦：牛島会長（任期：令和８年10月１日～令和10年９月末日）

９．議題：

１．代診派遣制度の見直しについて
【可決】代診派遣制度の内規を提案。審議の結果、原案通り可決承認とするが、熊本大学病院へ内容を確認し、運用する上で修正の必要が出た場合はその都度修正することとした。
２．部活動補助金交付申請について
10/18 第78回九州歯科医学大会厚生行事（大分県）
・野球部23人　・剣道部10人
・テニス部18人　・ボウリング部４人
【可決】部活動補助金交付申請について説明。審議の結果､例年通り､人数×8,000円の補助金を交付することを可決した。
３．「いい歯の日」熊日新聞広告掲載について
【可決】新聞広告について説明。審議の結果、掲載日を11月７日とし、「入賞作品展」の日程を記載することで可決承認した。
４．令和９年度各委員会概算要求協議日程について
【可決】概算要求の日程について説明。審議の結果、原案通り可決承認した。
５．学院・医療施設等災害復旧補助金の申請について
【可決】学院のエアーガンおよびスクロールコンプレッサーの購入、ならびに熊本地震で破損した箇所の修繕について、厚生労働省の補助金を申請する旨を提案。協議の結果、原案通り可決承認した。
６．口腔保健センター購入品について
【可決】審議の結果、備品購入は豊工務店にお願いすることで可決承認した。
７．会館貸出について
・フリーランス・栄養関連企業等事業部合同研修会／熊本県栄養士会
令和９年１月30日（土）午後１時～午後５時　３階研修室
【否決】会館使用内規に掲載されていない団体からの貸出申込があった旨について説明。審議の結果、同日に各郡市会長・専務理事会が開催され、駐車場の確保が難しいことから、今回は否決した。しかし、今後も関係団体からの貸出申込があった場合は、理事会に諮ることとする。

10. 協議事項

１．災害時等歯科保健医療提供体制整備事業・歯科巡回診療車購入について
歯科巡回診療車のデザイン案を提案。審議の結果、マグネットシートの文言を「JDAT熊本」に統一することとし、車内に設置する医療機器や設備については、随時理事の意見を踏まえながら、引

き続き検討する。

２．出産前健診について

啓発チラシの内容を提案。学術委員会にて、祖父母等家族を含めた内容を再検討することとし、ネーミングについては引き続き理事会で検討する。

11. 監事講評：

神山監事「今回の熊本地震発生から約２ヶ月が経過しようとしています。地震の回数は減っていますが、いまだに仮設住宅で生活をされている方々がおられ、まだ不安なことがあると思います。被災された会員の先生方も、まだ不自由な状態で診療や生活をしておられると思いますが、一日も早い完全復活を願っています。」

永松監事「事業計画・予算を立てる時期が来ています。理事会で収支報告はしていただいていますが、事業をどれだけ執行したかという内容はまだ見えていません。改めて、事業計画がどれだけ執行されているかを確認していただいて、必要な事業を足す、必要のない事業があるのであれば線引きをして、確実に執行できる事業計画を立てていただきたいと思います。」

12. 閉会：大林副会長

（広報　秋山 清）



委員会報告

歯や口の健康を楽しく学ぶ

― 第３回世界一受けたい歯の授業 ―

地域保健学校歯科

８月23日（日）午前10時より、熊本歯科衛生士専門学院にて標記イベントを開催した。本事業は、子どもたちに歯科医療を身近に感じてもらい、楽しみながら歯や口の健康について学んでもらうことを目的として、今回で３回目の開催となった。小学５・６年生を対象に、夏休みの自由研究の題材としても活用していただけるよう募集を行った。

まず「歯にまつわる○×クイズ」からスタートした。歯みがきやむし歯など、身近なテーマを中心に出題したが、子どもたちは予想以上の盛り上がりを見せた。問題が出されると、すぐに答えを決める子もいれば、友達と相談しながら悩む子もおり、正解が発表されるたびに歓声が上がった。中には大人でも迷ってしまうような問題もあり、楽しみながら自然と歯についての知識を深めている様子がうかがえた。



予想以上の盛り上がりをみせた○×クイズの様子

続いて「PMTC体験」では、歯科衛生士の指導のもと模型の歯を実際に磨き、磨き残しを確認しながら、歯をきれいにする方法を体験した。目で見て確認することで、普段の歯みがきでは気付きにくい磨き残しにも関心を持ってもらうことができた。

「CR充填体験」では、歯牙模型を使用し、実際の歯科治療で使用される材料を用いて充填を体験した。歯科医師や学院生のサポートを受けながら、子どもたちは普段触れることのない歯科材料に興味を示し、真剣に取り組んでいた。

また、iTero luminaを用いた歯列のスキャン体験では、読み取った歯の形が画面上に立体的に再現される様子を体験してもらった。自分たちの歯がデジタルデータとして画面に現れることに驚き、歯科医療におけるデジタル技術を身近に感じてもらう機会となった。さらに、ネクストビジョンを使用した実習では、模型に隠されたむし歯を拡大映像で探したり、1000円札に隠された文字を見つけたりする体験を行った。子どもたちは夢中になって画面をのぞき込み、見つけた瞬間には「見つけた！」と声を上げるなど、最後まで楽しみながら取り組んでいた。

今回、特に印象的だったのは、クイズから実習まで、子どもたちが受け身ではなく、自分から考え、答え、体験しようとしていたことである。歯科について「知る」だけでなく、実際に体験することで、普段何気なく通っている歯科医院でどのようなことが行われているのかを、より具体的に感じてもらえたのではないかと思う。

また、夏休みの自由研究をきっかけに参加した子どもたちにとって、今回の体験が「歯」について調べるだけでなく、自分自身の口の中や毎日の歯みがきを見直すきっかけになればと思う。

３回目の開催となった今回も、子どもたちの素直な反応や楽しそうな表情が多く見られた。今後も、子どもたちの「知りたい」「やってみたい」という気持ちを大切にしながら、歯科医療を楽しく学べる地域活動として、本事業を継続していきたい。



学院生の補助でPMTCを行う小学生

（松田　智也）

委員会報告

今後も九州各県と情報共有を行っていく

― 九州各県歯科医師会社保担当者会 ―

社会保険

10月３日(土)午後２時より、長崎県歯会館大会議室において、標記会議が開催された。今年度の担当は長崎県で、大杉和司日歯常務理事にもご参加いただいた。本県からは、椿副会長、野田・園田理事が出席した。会議は松永常典長崎県歯社会保険委員会医療部部長の開会宣言で始まり、担当県である渋谷昌史長崎県歯会長の挨拶、そして大杉日歯常務理事の挨拶が行われた。

出席者紹介、座長選出後、日歯の社保関係報告が行われ、その後、各県より提出された議題の協議が行われた。

報告事項として

・令和８年度診療報酬改定までの道筋と改定の重要項目（医療機関の現況（物価賃金上昇対応、賃上げ対応)、CAD/CAM、疾病予防の推進、歯科技工士減少対策、金パラ代替え材料、レントゲン撮影の歯科固有の考え方、口腔機能実地指導料等）
・改定率説明
・新規歯科医療技術の保険収載
・さらなる医科歯科連携の推進
・OTC類似薬の保険給付見直し

が報告された。また、次回改訂への課題や検討項目の説明もあった。

その後各県からの、協議事項（21題）の質疑応答を行った。各県での審査の取り決め事項や現在の指導の状況、施設基準の届け出等を協議し確認した。また、過年度より改善されている事例が３項目あった報告もなされた。

今後も九州全県の連携で社保関連情報の交換を行うとともに、各県の情報周知の方法や増加している施設基準の届出に関する取り組みなどを互いに情報共有していくことが重要であることを感じた。そして、社会保険関連の日歯への要望や質問（23題）も伝えることが出来た。

最後に、田中靖彦長崎県歯専務理事の挨拶で閉会となった。




社保関連の様々な議題について、協議が行われた

（理事　園田 隆弘）

阿蘇郡市歯科医師会

日常臨床から全身疾患まで、幅広く学ぶことができた

― 阿蘇郡市歯会 講演会及び懇親会 ―

９月７日(月)阿蘇郡市医師会館において、熊本大学歯科口腔外科 中山秀樹教授、平山真敏助教を講師に迎え、「口腔総合診療医 ドクターOS in 阿蘇2026　患者を救え！病名推理ケースプレゼンテーション」と題した講演会が開催された。

園田専務理事の司会、佐藤会長の開会挨拶、片山理事の座長挨拶に続き講演が開始された。本講演会は今回で４年連続の開催となり、今回は前回実施した会員アンケートをもとに内容を構成したとのことだった。

まず平山助教より、舌痛症、上顎洞内へ迷入したインプラントの摘出、残根抜歯、歯の移植について、実際の症例や動画を交えた講演が行われた。

舌痛症では60～80歳代の女性が多く、癌への不安を抱える患者も少なくないため、十分な説明とカウンセリングにより病態を理解してもらうことの重要性が示された。中山教授からも、心理的・身体的ストレスとの関連について解説があった。

残根抜歯では、歯根膜腔を広げることを意識したヘーベル操作や、必要に応じたグルーブ形成、複根歯の分割など、日常臨床に直結するポイントが示された。歯の移植では、歯根膜の温存や移植後の根管治療の時期などについて、動画を用いた解説が行われた。



様々な観点からご説明をいただいた

続いて中山教授より、歯根端切除後12年経過症例や智歯歯胚移植の長期経過、疼痛緩和に時間を要した顎関節症などが紹介された。

特に印象的であったのは、下顎骨から咽頭に及ぶ疼痛を訴え、当初は口腔心身症も疑われたものの、その後に狭心症と診断された症例であった。「心筋梗塞＝胸痛とは限らない」との解説から、顎顔面痛を診る際には全身疾患も念頭に置く必要性を再認識した。

最後に、口腔カンジダ症治療に用いる抗真菌薬と抗凝固薬などの薬剤相互作用について解説があり、服薬状況を十分に確認する重要性が示された。

舌痛症や抜歯、歯の移植といった日常臨床から、顎顔面痛に潜む全身疾患、薬剤相互作用まで幅広い内容を学ぶ有意義な講演会となった。

最後に隈井常務理事より閉会の挨拶があり、講演会は終了した。

その後、会場を移し懇親会が開催された。佐藤会長の挨拶、甫谷副会長の乾杯の音頭で始まった懇親会は会員の先生の近況報告などもあり、最後は安光副会長の一丁締めにて盛会の中終了した。



中山教授、平山助教を囲んで

（多田 真一郎）

郡市会報告

山鹿市歯科医師会

診療報酬改定について詳しく知ることができた

― 社保くま歯キャラバン隊 in 山鹿 ―

９月15日(火)、山鹿市交流センターにて山鹿市歯会例会の後､野田県歯社保担当理事より｢令和８年診療報酬改定の概要」についてご講演いただいた。

まずは、ベースアップ評価料について、特に来年定例報告が必要な歯科技工所ベースアップ支援料の注意点について詳しくご説明いただいた。施設基準をオンラインで申請できるようになってきている事や、施設基準届出と算定開始可能日についても説明していただいた。

次にデンタル、パノラマ、CT等レントゲンの同日撮影や点数算定について、義歯関連について、補綴前処置の算定について、メタルコアなどの除去について､暫間歯冠補綴装置（TEC）の取り扱いについて、周術期等口腔機能管理料について、SPTについて、口腔機能低下症や口腔機能発達不全症についてなど、注意が必要な事項や算定間違いが多い事項について重点的にご説明いただいた。



野田県歯理事より、様々な注意事項を説明頂いた

点数改正から約３か月が経つが、ずっと勘違いしていた事や算定を忘れていた事も確認できて、明日からの診療に役立てていきたい。

（小林 聡）

報 告

本会報でも投票のご協力をお願いしていた「ゆるバース2026」（ゆるキャラグランプリ後継イベント）にて、日歯PRキャラクター「よ坊さん」は10月４日の決選投票でエントリーした435キャラ中、9,206Pを獲得し54位となりました。

今後も熊本県歯科医師会では「よ坊さん」を招いて、県民の皆様に歯とお口の健康の大切さをアピールして参ります。



ステージ上でポーズをとる「よ坊さん」

荒尾市歯科医師会

将来の歯科人材育成を目指して

― 緑ヶ丘小学校お仕事体験 ―

10月４日(日)、荒尾市内の緑ヶ丘小学校において標記イベントが開催された。この行事は、毎年緑ヶ丘小学校において、児童が様々な職業を体験し将来の職業の選択肢に加えることを目的として開催されており、未来を担う子供たちにとって貴重な学びの機会となっている。

本会は昨年から、標記イベントの趣旨に賛同し、将来の歯科人材確保を目的とし、県歯科衛生士会有明支部と共同で歯科衛生士体験講座を設けている。

講座の実施内容としては、受講児童を２班に分け、自分の指の印象採得及び石膏模型作製体験と、マネキン模型を用いたPMTCの体験を行った。

目を輝かせながら、興味を持って真剣に体験に取り組んでいる子供たちの姿を目にし、終始たくさんの笑顔に囲まれながら大盛況のうちに終了した。

歯科の仕事は専門性が高いが故に、日常生活においてこの様な体験をすることは無いと思うが、今回の体験を通じて、子供たちに歯科界の魅力を大いにアピールできたと感じている。今後、この体験が子供たちの歯科界に対する貢献の一助となればと思う。





未来の歯科医療人育成中！

（疋田 貴之）

口腔保健センター新聞

第１５号



外来では、**障がいをお持ちの方**の歯科診療を行っています！　※休日診療はやっていません×

診療案内	月	火	水	木	金	土	日 祝日
外来診療	★	10:00~13:00 14:00~17:00	休	10:00~13:00 14:00~17:00	10:00~13:00 ◎	10:00~13:00 14:00~17:00	休
IV- s 診療 【日帰り】		●		●			

※設備の都合上、全身麻酔は行えません😭

★月曜：訪問診療（障がい児・者）　　◎金曜午後：診療トレーニング

IV- s（静脈内鎮静法）：午前は【処置中心】、午後は【P 管理】にて診療しています♪

口腔保健センターで摂食嚥下リハビリテーションをはじめました！

― 摂食嚥下に関する継続的な支援を目指して ―

口腔保健センターでは、障がいのあるお子さんやご家族が抱える「食べること」への悩みに寄り添うため、令和 7 年 11 月より「くまもるくんのごっくん応援教室」を開始しました。

本教室は、摂食嚥下に関する診療および支援を目的として、3 か月に 1 回開催しています。鹿児島大学病院 小児歯科 佐藤秀夫 診療准教授をお迎えし、摂食嚥下機能の評価や食事に関する相談、家庭での支援方法について専門的な指導を行っています。

摂食嚥下とは、食べ物を認識し、口に取り込み、噛む、飲み込むまでの一連の過程を指します。この過程には、唇や舌、顎の動き、口腔機能、姿勢、呼吸との協調などさまざまな機能が関わっています。

障がいのあるお子さんの中には、発達や全身状態の影響により、食べることに困難を抱えている場合があります。食べ物を噛まずに丸飲みしてしまう、食べられるものが限られている、食事量が少ない、経鼻栄養や胃ろうによる栄養管理を行っているなど、その悩みは一人ひとり異なります。

摂食嚥下への支援では、単に「食べられるようにする」ことだけを目的とするのではなく、安全に、そして本人にとって楽しい食事につながるよう、成長段階や身体状況に応じた支援を行うことが重要です。

■ 実際の食事場面を通した診療

「くまもるくんのごっくん応援教室」では、令和 7 年 11 月の開始以降、3 か月に 1 回開催しており、これまで未就学児から中学生頃までのお子さんとそのご家族、延べ約 15 人が参加されています。

診療では、ご家族に普段食べている食事や食品を持参していただき、実際の食事場面を確認しながら評価を行っています。

佐藤先生には、食べ方や口腔内の動き、姿勢、食形態などを総合的に評価していただき、それぞれのお子さんの発達段階や状態に応じた具体的なアドバイスをいただいています。

また、ご家族からは、「丸飲みが心配」「食べられるものが増えない」「好き嫌いが多く、食事量が少ない」

「経鼻栄養や胃ろうから、今後どのように食事を進めていけばよいのか」など、日常生活の中で抱えているさまざまな悩みが寄せられています。

佐藤先生は、一つひとつの相談に丁寧に耳を傾け、お子さんの発達段階や身体状況、ご家族の思いに寄り添いながら、今後の食支援について分かりやすく指導されています。

■ 継続的な支援の場として

障がいのあるお子さんへの摂食嚥下支援は、成長に伴って継続的に必要となることが多くあります。しかし、就学を迎える時期には、それまで受けていた摂食嚥下に関する相談や支援の機会が少なくなり、ご家族が不安や悩みを抱えることもあります。

そのような中で、「くまもるくんのごっくん応援教室」は、就学後も継続して専門的な相談ができる場として、ご家族から大変喜ばれています。

お子さんが「口から食べること」は、ご家族にとって大きな願いの一つです。本教室では、その思いを大切にしながら、お子さん一人ひとりの可能性に寄り添った摂食嚥下支援を行っています。

■ 今後に向けて

口腔保健センターでは、歯科診療だけでなく、摂食嚥下に関する専門的な支援を通じて、お子さんとご家族が安心して食事と向き合える環境づくりに努めています。

今後も鹿児島大学病院 小児歯科との連携を深めながら、地域における摂食嚥下支援の充実を図り、障がいのあるお子さんの口腔機能の発達と豊かな食生活を支えていきます。

（口腔保健センター　日永 智子）



Legend
～伝説のささやき～

学院建設の一話

熊本市　堤　　直文

平成６年４月１日から鬼塚先生が会長に就任され、新しい執行部が発足致しました。これに伴い、私も専務理事への指名を頂き会務全般を担当することとなり、まず前執行部で継続審議となっていた重要課題の解決から取り組むことになりました。

具体的な一番の宿題は、学院の教室をはじめとする新校舎の建設でした。背景には歯科衛生士養成校の修業年限を３年以上とする省令が平成17年４月に施行され、５年間の経過措置はあるものの、平成22年までに３年制へ移行しなければならないという、きわめて重要な局面を迎えていたのです。幸いにも学院の２年制から３年制への移行問題は、すでに３～４年前から検討されていましたので、実務的にはほぼ整理され構想も練り上がっていました。したがって、それを具体的な設計に乗せるのに、それ程の時間はかからない見通しでした。

次に懸案事項である建設資金の話になった時、執行部の一員から、『自転車振興会の補助金を申請してみたら』との貴重な提案があり、実際に動いてみることになりました。

私と会長で東京の振興会本部へと直接出向き、要望内容を説明しながら要望書を提出しました。

その後、要望内容の確認と建設現場の視察ということで、県歯会館にも２回程視察に来られました。その際には県歯会館で、歯科衛生士の仕事やその存在意義等を説明し、実際に実習で使用する歯科治療用ユニットも視察してもらいながら、その解説・説明をしたものです。この時の説明等の中から、学院の実習用歯科用ユニットも補助金の対象となることとなり、結果的に自転車振興会から一億円余の補助金をいただけることになりました。

この時点で、衛生士専門学院建設が大きく前進することになりました。

自転車振興会とは、競輪等を全国的に統括する公益財団法人で、社会課題の解決や社会貢献に取り組む団体に対して補助金交付も行なっています。当会の補助金申請は、同財団の掲げる主旨や要件に合致しているか精査を重ね検討しました。

結果、熊本県歯科医師会への補助金申請を、この財団の条項に合わせて申請しました。この当時の執行部役員の先生方の幅広い人脈や、並々ならぬご尽力に多大なる恩恵を受け、学院校舎建設という大きな悲願を成し遂げることができたのです。


私の近影（会館にて）


正門より望む学院外観


２Ｆ実習室


４Ｆ（２年生）教室


５Ｆ実習室

補助金・寄付金について

平成９年

（補助金）日本自転車振興会	１０３，８６０，０００円	（建築）
	６，４２２，０００円	（機器）
熊本県	４２，０００，０００円	
熊本市	２１，０００，０００円	
熊本県やさしいまちづくり	８１８，０００円	
（寄付金）肥後銀行	１０，０００，０００円	
熊本ファミリー銀行	５００，０００円	
小　計	１８４，６００，０００円	

部活動だより

牧野前部長の慰労会を開催

剣道部

― 牧野前部長　慰労会 ―

県歯科医師会剣道部の部長を30年近く務められた牧野敬美先生が昨年度をもって勇退された。８月27日(木)、剣道部の総会後に部員による上記会を行った。

会の始めにあたり、中嶋隆志新部長より「長年にわたる部長の務めに敬意を表します。特に全日本剣道連盟の剣道有功賞を受賞されたことは永年のご功績によるものです。」と挨拶があった。また牧野先生からは「部員の皆さんのご協力のおかげで部長を務めることができました。年を重ねると若さやスピードで勝負をするのは難しくなってくるので、今後は“心の剣道”（気を充実させて攻めて、相手の気が崩れたところを打つ）を目指して体に注意し、仕事も頑張りながら歯科医師と剣道の二刀流を達成することを祈念します。」とお礼を述べられた。会は過去の部員の逸話や剣道談議で大いに盛り上がった。

牧野先生は済々黌高校時代に国体の団体戦に出場し準優勝、九州歯科大学時代はオールデンタルで団体戦優勝や全日本学生剣道選手権に出場、熊本に戻られてからは全国都道府県対抗剣道大会に出場と輝かしい戦績を納められ、熊本市剣道連盟や熊本県剣道連盟の役職を歴任され、令和３年から令和７年まで市剣道連盟の会長を務められた。歯科医療をしながら長年にわたり剣道界の発展にも尽力されたことに部員一同敬意を表する。

先生が以前「稽古の時間は自分で作れ。でも仕事が一番」と言われたことを覚えている。先日は「剣道の前後にしっかりストレッチをしてケガをしないように」とアドバイスをいただいた。今後もケガに注意して先生が話された“心の剣道”を目指して頑張る所存であり、変わらぬご指導を賜りたい。

（剣道部　三森 康弘）



太田先生から牧野先生へ花束贈呈



中嶋隆志新部長の挨拶

ご　訃　報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



竹田　敬幸 先生
令和８年10月６日　ご逝去　78歳

- 郡　市　名：熊本市
- 入会年月日：昭和60年７月23日



林　　秀樹 先生
令和８年10月13日　ご逝去　70歳

- 郡　市　名：菊池郡市
- 入会年月日：平成８年５月28日

新入会員 NEW

①今もっとも関心のあることを教えてください。
②自分が希望する歯科診療とはどのようなものだとお考えですか。
③他の歯科医院にはない自分の医院の特色を教えてください。
④今後の抱負は何ですか。

第１種会員



安武　宗徳
（ヤスタケ　ムネノリ）

やすたけ歯科クリニック

菊池市泗水町田島343-4

①・息子２人の成長と子育て
　・日銀の利上げ、30年ぶりの金利のある世界の到来
②予防とメンテナンスのために気軽におとずれることができる医療の場であること
③・何でも気軽に相談できる明るい院内環境作り
　・お年寄りでも通いやすい広い駐車場とバリアフリー設計
④地域の皆さまに愛され、頼りにされる歯科医院となるよう日々研鑽を重ねてまいります。



瀬貫　翔也
（セヌキ　ショウヤ）

徳治会歯科医院八代

八代市豊原中町南原2360-1

①現在もっとも関心があるのは、FDOをはじめとした咬合についてです。日々の臨床の中で実践しながら、より予知性の高い治療につなげていきたいと考えています。
②口腔内全体を一つの単位として捉え、現在の問題を解決するだけでなく、なぜそのような問題が起きたのか原因を追及し、治療後もできるだけ長く健康な状態を維持できる診療が理想です。
③当院の特色は、幅広い世代の患者さんに対し、予防から治療、そして通院が難しくなった後の訪問診療まで、一貫して関わることができる点です。
④歯科医師として技術や知識を磨き続けることはもちろん、院長としてスタッフ一人ひとりが成長し、やりがいを持って働ける医院づくりにも力を入れていきたいと考えています。

R．8．11

会　務　報　告

自　令和８年８月21日
至　令和８年９月17日

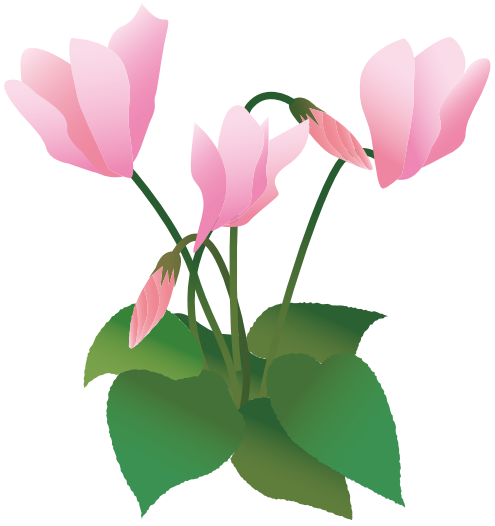
所管	日付	摘要	出務者
総　務	８月21日	TKU「かたらんね」番組出演（テレビ熊本）	椿常務理事
		宇城市避難所でのオーラルフレイル予防打合せ（宇城市保健所）	立山理事
	22日	【Web】社会歯科学会理事会（診療所）	牛島会長
	23日	熊本県JDAT（八代・宇城地域避難所）　保健・支援物資配布活動	椿副会長、椿常務理事他５人
	24日	【Web】第15回県保健医療福祉支援会議（診療所）	宇治専務理事
	25日	月次監査　７月末会計現況監査	神山・永松監事
		第８回災害対策本部会議 （１）８月30日JDAT引継ぎ式（県外チーム解散式）（２）今後のJDAT活動	牛島会長他理事以上全役員
		第16回理事会　【承認事項】 （１）新入会員（２）関係機関・団体からの役員等推薦依頼 【議題】 （１）関係機関･団体への会費等の納入（２）令和８年度委託･補助事業､業務委託予算書（案） （３）令和７年・８年度「生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり推進事業」助成金　ほか 【協議事項】 （１）ガイドブックおよび学校歯科健診の発送物の見直し	牛島会長他全役員
	26日	熊本県JDAT（八代・宇城地域避難所）　保健・支援物資配布活動	松原良太理事他３人
		第215回九州地方社会保険医療協議会熊本部会（第二合同庁舎）	椿副会長
		第２回県社会福祉審議会身体障害者福祉専門分科会審査部会（県庁）	椿副会長
	28日	熊本県JDAT（八代地域避難所）　保健・支援物資配布活動	椿副会長
	29日	熊本県JDAT（八代地域避難所）　保健・支援物資配布活動	椿副会長、椿常務理事、園田理事他２人
	30日	熊本県JDAT（八代地域避難所）　保健・支援物資配布活動	椿副会長、町田･椿常務理事、太田･豊田・松原崇士・松原良太理事、永松監事他13人
		九地連引継式　県外チームから本県へ引継ぎ	牛島会長、椿・大林・工藤副会長、宇治専務理事、椿常務理事他３人
	31日	税理士法人ユース会計社訪問（税理士法人ユース会計社）	牛島会長
		【Web】第16回県保健医療福祉支援会議（診療所）	宇治専務理事
		【Web】「骨太の方針2026・日本成長戦略について」～歯科部分記載のしくみと今後の展開～（第５回会長勉強会）（診療所）	牛島会長
	９月１日	県健康福祉部長との面談（県庁）　叙勲に関する説明	牛島会長
		第９回災害対策本部会議 （１）今後の熊本JDAT活動（２）今後の事務局の対応	牛島会長他常務理事以上全役員
		第28回常務理事会 （１）新入会員（２）代診派遣制度の見直し（３）熊本地震による学院施設内修繕　ほか	牛島会長他常務理事以上全役員
	２日	熊本県JDAT（宇城地域避難所）　保健・支援物資配布活動	椿副会長、吉永義優会員
		熊本県JDAT　歯科衛生士会の支援活動打合せ	宇治専務理事
	３日	「新聞クイント」インタビュー取材（日歯会館）	牛島会長
		くま歯キャラバン隊（玉名郡市）（玉名市文化センター） （１）点数改定対策研修　受講者：24人	園田理事
	４日	熊本県JDAT（宇城地域避難所）　保健・支援物資配布活動	吉永義優会員
	６日	熊本県JDAT（八代地域避難所）　保健・支援物資配布活動	宇治専務理事他21人
		JDAT標準研修会（日歯会館）	松原良太理事
		ロアッソ熊本ホームゲームでのPRブース出展（えがお健康スタジアム）	牛島会長、椿常務理事、金子アンバサダー
	７日	滋賀県歯会中村会長、桜井専務理事来館 令和８年熊本地震に係る支援金贈呈	牛島会長
		【Web】第１回県福祉調整本部会議（診療所）	宇治専務理事
	９日	熊本県JDAT（宇城地域避難所）　保健・支援物資配布活動	吉永義優会員
	10日	石川県歯会飯利会長・佐藤副会長来館　令和８年熊本地震に係る支援金贈呈	牛島会長、宇治専務理事
		【Web】災害時等歯科保健医療提供体制施設整備事業説明会（診療所）	宇治専務理事、椿常務理事
	12日	第１回九州各県専務理事会（宮崎県歯会館）	宇治専務理事
		くま歯キャラバン隊（神歯大同窓会熊本県支部） （１）点数改定対策研修　受講者：20人	野田理事
	14日	【Web】第２回県福祉調整本部会議（診療所）	宇治専務理事
	15日	第29回常務理事会 （１）新入会員（２）関係機関・団体への会費等の納入（３）第43回中規模県歯科医師会連合会（紙面会議）提出協議題　ほか	牛島会長他常務理事以上全役員

R．8．11

会務報告

所管	日付	摘要	出務者
総　務	15日	くま歯キャラバン隊（山鹿市）（山鹿市民交流センター） （１）点数改定対策研修　受講者：16人	野田理事
	16日	JDAT研修会打合せ （１）研修内容（２）今後の流れ	椿常務理事、松原良太理事
	17日	中久木先生との打合せ	宇治専務理事
学　術	９月６日	ロアッソ熊本ホームゲームでのPRブース出展（えがお健康スタジアム）	豊田理事、片山副委員長他１委員
社会保険	８月31日	【Web】社会保険委員会（各診療所） （１）会員向け発行物（２）個別指導立会者、個別相談対応（３）報告事項と今後の日程	椿副会長、野田・園田理事、桐野委員長他11委員
地域保健学校歯科	８月22日	世界一受けたい歯の授業準備・打合せ （１）タイムスケジュール・実習ローテーションの確認	髙田・松原崇士理事、髙水間委員長他全委員
	23日	世界一受けたい歯の授業　体験者：17人	大林副会長、髙田・松原崇士理事、髙水間委員長他全委員
	９月４日	生活歯援プログラム（アップサクシード）	歯科衛生士１人
		日本人間ドック・予防医療学会学術大会（熊本城ホール）	牛島会長
	５日	日本人間ドック・予防医療学会学術大会（熊本城ホール）	牛島会長
	14日	図画・ポスター、習字、標語審査	大林副会長、髙田理事
		地域保健学校歯科小委員会 （１）標語審査（２）今後の事業	髙田理事、髙水間委員長他５委員
	17日	県PTA共済審査委員会（県総合福祉センター）	上野委員
地域包括ケア	８月27日	オーラルフレイル対策普及定着事業栄養士会と打合せ （１）カムカム弁当試食（２）当日のスケジュール	町田常務理事他４人
		在宅歯科医療連携啓発イベント打合せ （１）団体場所配置図（２）備品リスト（３）事務的業務　ほか	町田常務理事、立山理事、園田委員長
	９月２日	熊大緩和ケアセンター県民公開講座打合せ（診療所）	町田常務理事
		第５回歯科口腔健康診査受診率向上取組連携協議（各診療所）	立山理事、川野副委員長
	８日	オーラルフレイル対策普及定着事業 高森町（第１回）（色見総合センター）　受講者：25人	町田常務理事
	９日	【Web】多職種研修会打合せ（各診療所） （１）講師自己紹介（２）演題・内容すり合わせ（３）座談会の内容　ほか	【Web】立山理事、高尾委員【来館】園田委員長
	10日	熊本大学病院緩和ケアセンター第16回県民公開講座打合せ（診療所）	町田常務理事
	14日	【Web】令和８年熊本地震に伴う復興リハビリテーション活動に関する説明会（診療所）	宇治専務理事
		【Web】在宅歯科医療連携啓発イベント打合せ（各診療所） （１）配置（２）当日の内容（３）当日スケジュール	町田常務理事、立山理事他14人
	16日	「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施」等に係る懇談会（熊本県市町村自治会館）	町田常務理事
		【Web】地域包括ケア委員会（各診療所） （１）在宅歯科医療連携イベント（２）多職種連携研修会（３）在宅歯科医療研修会　ほか	町田常務理事、大田・立山理事他10人
	17日	県健康づくり推進課と事業打合せ	町田常務理事、立山・太田理事、園田委員長
広　報	９月２日	【Web】広報委員会 （１）熊歯会報10月号・１校目校正	【会館】秋山理事、月精委員長他３委員【Web】他２委員
	14日	くまもと経済　インタビュー取材（診療所）	椿常務理事
		【Web】広報委員会 （１）熊歯会報10月号・２校目校正（２）アンバサダー起用歯科啓発ポスター案	【会館】秋山理事他３委員【Web】月精委員長他２委員
医療対策	９月14日	医療対策委員会 （１）事例報告（２）委員提出協議題（３）検討事項	椿常務理事、松原良太理事、町田委員長他全委員
厚生・医療管理	８月22日	阿蘇郡市健康診断（阿蘇郡市医師会館）	
	29日	水俣・芦北郡市健康診断（津奈木町つなぎ文化センター）	
		荒尾市健康診断（はたらく女性の家）	
	９月５日	人吉市健康診断（人吉市東西コミュニティセンター）	
	６日	ロアッソ熊本ホームゲームでのPRブース出展（えがお健康スタジアム）	牧理事、出来田・清川委員
	８日	熊本市・上益城郡健康診断	
	９日	熊本市・上益城郡健康診断	
	10日	熊本市・上益城郡健康診断	
	11日	熊本市・上益城郡健康診断	
	16日	【Web】九州地域の医療機関における電波利用推進協議会（診療所）	牧理事
	17日	厚生・医療管理委員会 （１）医療管理だより11月号（２）九州各県担当者会（３）医療管理講演会　ほか	工藤副会長、牧理事、黒岩委員長他４委員
センター	９月７日	センター役職員会（口腔保健センター）【協議事項】 （１）日本障害者歯科学会介入研究（２）患者対応（３）ハードメンテナンス互助会 【報告事項】 （１）レセプト報告（２）消防訓練	椿センター長、我那覇・大坂副センター長、三笘常任理事、川島診療部長

所管	日付	摘要	出務者
センター	11日	日本摂食嚥下リハビリテーション学会（至13日）（神戸国際展示場、神戸ポートピアホテル）	我那覇副センター長他１人
	16日	口腔保健センター長診療日（口腔保健センター）	椿センター長
学　　院	８月21日	令和８年度講師会議　講師：23人	牛島学院長、大林・弘中副学院長、井上教務部長他４委員
	24日	2026年度歯科衛生士専任教員講習会Ⅳ（至28日）（広島大学大学院）	橋本専任教員
	26日	2026年度歯科衛生士専任教員講習会Ⅳ（至28日）（広島大学大学院）	野中課長補佐
	27日	第２回ナイトキャンパス　参加者：17人	牛島学院長
	９月７日	次年度入学案内パンフレット撮影	牛島学院長
	10日	第３回ナイトキャンパス　参加者：12人	牛島学院長
	16日	学院始業式	弘中副学院長
	17日	第２回教務委員会 （１）行事及び諸会議（２）学生現況（３）単位未修得者結果一覧　ほか	牛島学院長、大林・弘中副学院長、井上教務部長他６委員
国保組合	９月５日	【書面決議】第１回九歯連役員会	
		【書面決議】全協九州支部幹事会	
		【書面決議】第88回全協九州支部総会	
	16日	第１回全協理事長・役員研修会（アルカディア市ヶ谷、診療所）	【会場】牛島理事長【Web】上野副理事長、宇治常務理事



事業課からのご案内

其の1

会員専用グループ保険制度のご案内

保険料がさらに
お安くなりました

配偶者も1000万円
まで加入OK

最高「5000万円」の
保障が無診査で加入OK
保険期間は80才まで継続可能！

1年更新で配当金は
毎年加入者へ還元
（2025年の還元率約49%）

グループ保険は歯科医師会が契約者で
保険料を一括納付しています。
会員だけがいつでも自由に加入できる制度です。

引受保険会社 幹事 メットライフ生命

其の2

既に下記の保険会社でご加入の会員様も保険料納付は団体収納扱いでお願いします！

下記保険会社と団体収納契約をしている為、会費明細引きがご利用可能。

個人加入の保険料が団体割引でお安くなり、保険内容に何も影響ありません。

手続きは簡単、事務局が代行します。ぜひ便利でお得な制度をご活用ください。

朝日生命　アフラック生命　住友生命　SOMPOひまわり生命
第一生命　日本生命　メットライフ生命

[県歯事務局 事業課　TEL：096-343-8020]

Kumamoto Prefecture Dentistry Medical Association Report
November 2026 No.845

■発行日／2026年11月5日発行 ■発行人／牛島 隆
■発行所／一般社団法人 熊本県歯科医師会
〒860-0863 熊本市中央区坪井2丁目4番15号
TEL／096-343-8020 FAX／096-343-0623
URL／https://www.kuma8020.com
■印刷所／コロニー印刷

8020 笑顔ヘルC

主な行事予定

December **12**

1日(火)	第34回常務理事会	(県歯会館)
15日(火)	第35回常務理事会	(県歯会館)
22日(火)	第20回理事会	(県歯会館)

熊本県歯科医師会
安心・安全歯科医療推進制度

Instagram



県歯公式インスタグラムを開設しました！

▼ kumamoto_dental_association
▼ 一般社団法人熊本県歯科医師会【公式】

お口の健康に役立つ豆知識や、
講演会・各種イベントなどの
情報をお届けします。
ぜひ、フォローをよろしく
お願いいたします！

KUMAMOTO_DENTAL_ASSOCIATION



熊本歯科衛生士専門学院は
Instagram でも情報発信中！
ぜひご覧ください



熊本県ご当地よか坊さん

編集者のつぶやき（N.A）

「あと2か月」という現実を前に、毎年恒例の「1年早過ぎ問題」に頭を抱える季節です。

熊本名物の渋滞にはまっている時は「時空が歪んだか？」と思うほど1秒が重いのに、1年となると体感3か月くらいで駆け抜けていく不思議。この体感ギャップにはちゃんと「ジャネーの法則」という立派な名前があるそうです。

子供の頃は毎日が新しい発見の連続で脳のメモリに大量保存されるから1年が長い。一方大人は経験値が上がりすぎて「いつものやつね」とフォルダ分け＆圧縮保存してしまうから、脳のアルバムに記録が残らず1年が早い。

なるほど、脳が省エネモードに入っていただけで、老化のせいばかりではなかったようです（よかった！）。

日々、小さな感動を見つけて脳のストレージを満たしていきたいです！